

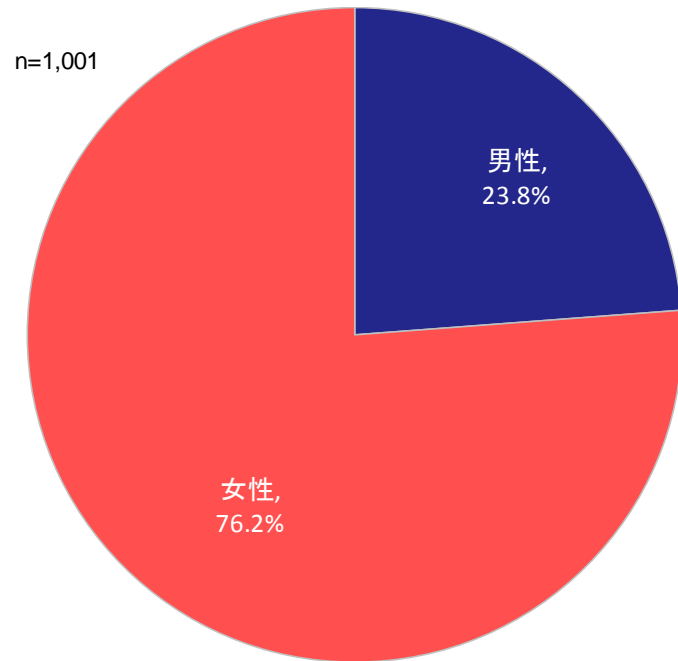
I. 調查概要

1. 調査概要

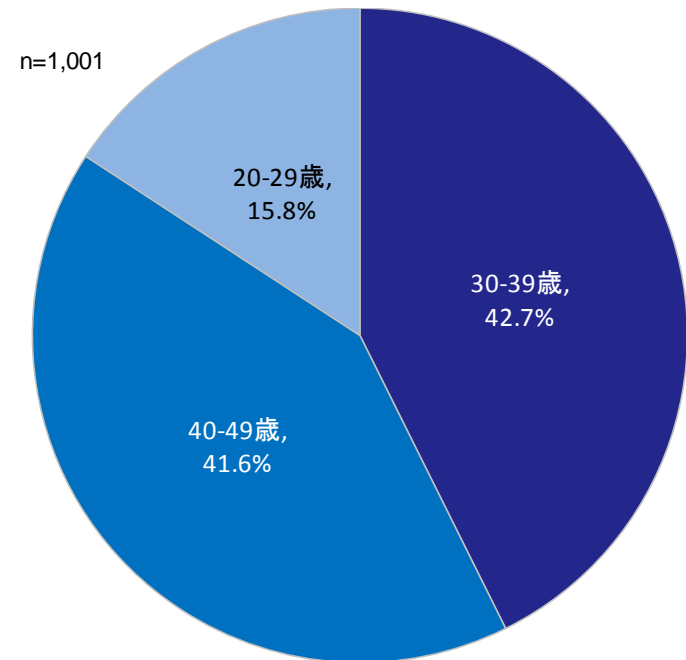
調査目的	<p>本調査は、海外留学経験者の実態、特に留学の動機とその達成感、留学情報収集の方法、留学後の進路について重点的に調査を行い、取得したデータを海外留学希望者の留学準備において、また、教育機関・公的機関等による情報提供業務において、参考資料として利用することを目的として実施する。</p> <p>また、本調査の結果の一部については、平成23（2011）年に実施した同内容の調査結果と比較を行うことで、海外留学および海外留学経験者に関する動向の把握を行う。</p>
調査方法	インターネット調査
対象者条件	過去15年以内に海外留学を経験している20～40代の一般の日本人
標本抽出方法	インターネット登録モニター（委託業者の登録モニター）に対してスクリーニング調査を実施し、条件適合者を選定
有効回収数	1001サンプル
調査期間	平成30年3月25日（月）～平成30年3月29日（金） （スクリーニング調査と本調査を同時に実施）
調査主体	独立行政法人日本学生支援機構
調査委託業者	株式会社インテージリサーチ

2. 調査回答者の属性

Q1 性別

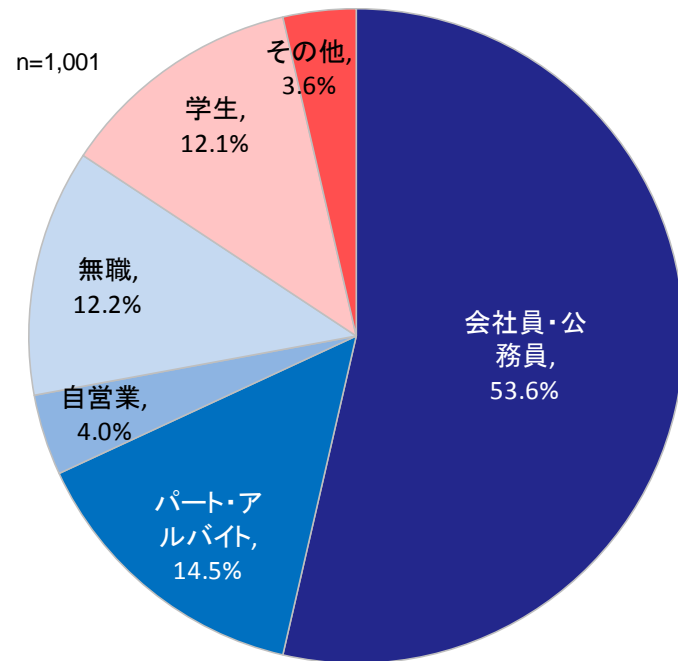


Q2 年齢

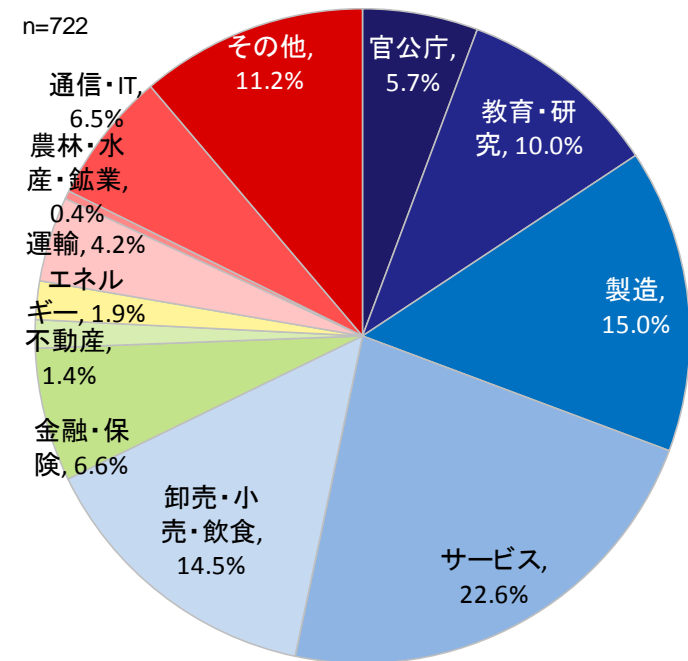


2. 調査回答者の属性

Q5 職業

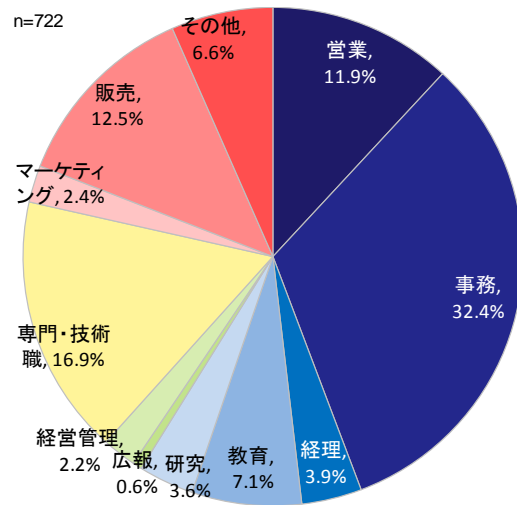


Q6 業種

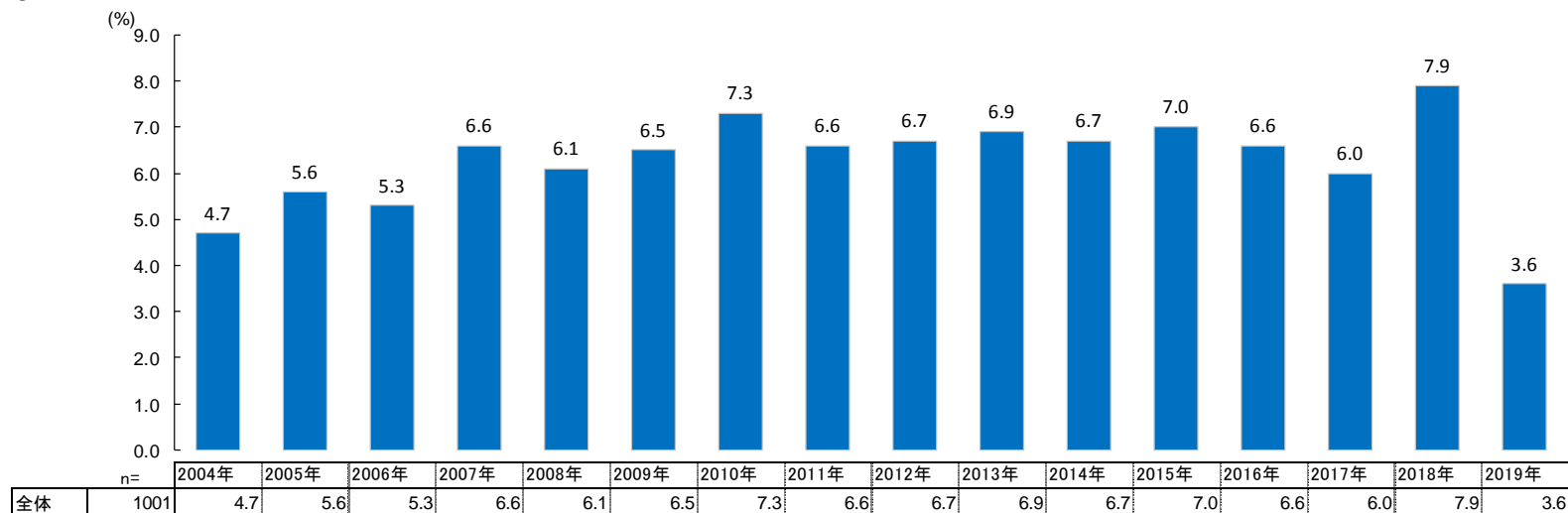


2. 調査回答者の属性

Q7 職種



Q8 留学終了時期

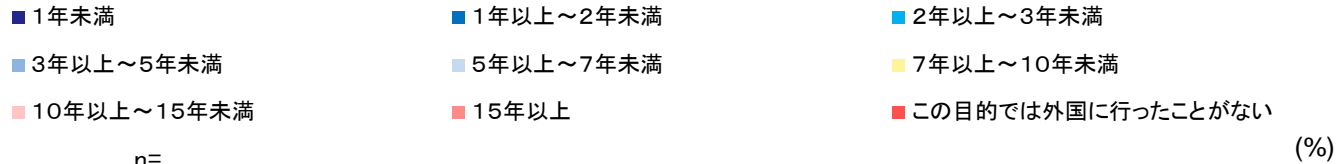


3. 渡航時期

- 渡航目的「留学」のすべてが、終了後15年未満となっている。

渡航時期を目的ごとにみると、『海外旅行』は「1年未満」54.5%で最も多く、『仕事』、『留学以外のホームステイ』、『ワーキングホリデー』、『その他』では「この目的では海外に行ったことがない」が、6割以上と高くなっている。

Q4 以下の目的で一番最近に外国に行き、目的を終えた時期（今から何年前にその目的を終えたか）をお知らせください。



	n=									(%)							
海外旅行	1001	54.5								12.6	6.0	8.3	4.8	2.9	3.1	0.6	7.2
仕事(出張・海外赴任等)	1001	17.1	5.8	3.3	2.3	2.1	0.1	65.6									
留学*	1001	19.8		11.4		6.4		11.7		11.0		14.6		25.2		0.0	
留学以外のホームステイ	1001	7.8	4.1	3.6	2.9	3.9	4.0	5.3	5.8	62.6							
ワーキングホリデー	1001	3.9	2.1	2.6	2.1	80.4											
その他	1001	4.6	2.1	1.4	1.1	84.1											

*「海外留学」を「日本以外の国（地域）の学校で学ぶことを主目的または目的の一部として渡航し、一定期間滞在して現地の学校に通った経験」と定義する。これ以外の外部的な要因による渡航・滞在は除く。（例：ホームステイ・ワーキングホリデー・インターンシップ・ボランティア・就職・家族の転勤等別目的での滞在、当該滞在中に機会を得て現地の学校に通った経験および通信教育、研究者としての在外研究機関への派遣等）

<参考> 調査結果の見方

- 報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問を示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある。
- 調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問の回答数または属性別のTOTAL数で、「n=」で表している。シングルアンサーの場合、横の列の合計は100％となる。ただし、割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。そのため、端数が影響で、回答率の合計値が100.0％にならない場合がある。
- 複数回答の設問では、回答率（％）は回答数「n=」に占める割合となっている。したがって、回答割合を全て合計しても100.0％にならない場合がある。
- 項目のn数が0の場合、非表示となっている。
- n数が50以下の項目も、参考情報として載せている。